

「アソシエーションA・I」現場研修会の記録

「平成29年度 アソシエーションA・I 名古屋地区」

尾張建設事務所、尾北建設協会、愛知県測量設計業協会の三者が一堂に会し、良質な社会資本整備を考えるための意見交換を行いました。

■研修日時：平成29年12月8日（金）13：30～17：00

■研修場所：現地研修「一般県道荒井大草線 道路構造物撤去工事（2号工） 小牧市城山2丁目地内」
：検討会 「小牧勤労センター大研修室」

■参加者：80名（愛知県尾張建設事務所山口所長始め13名、尾北建設協会42名、愛知県測量設計業協会25名）

【研修概要】

今回の研修は中央自動車道に近接する中央公園内遊歩道に架かる旧桃花台線の上下部工撤去工事です。

重要施設に近接かつ狭隘カ所の撤去工事という特殊な条件下での設計・施工を現場で確認することができ、これからの社会資本整備（維持管理・老朽化対策）に携わる私達にとって大変有意義な研修会になりました。

■発注：愛知県尾張建設事務所道路整備課

■設計：愛知県測量設計業協会会員
（中日本建設コンサルタント（株））

■施工：尾北建設協会会員（（株）松浦組）

■諸元：上部工（合成鋼板桁橋 橋長21.2m、幅員3.9～4.5m）
上部工（非合成鋼箱桁橋 橋長21.2m、幅員4.5～7.6m）
下部工（RC張出橋脚 全高8.4m、橋座幅9.3×2.2m）

【研修内容】

① 勤労センター大研修室にて概要説明

尾張建設事務所山口所長、尾北建設協会高木会長からご挨拶をいただき、続いて尾張建設事務所河合道路整備課長より桃花台線の全線撤去到る経緯と工事概要の説明をいただきました。

② 現場見学

概要説明の後、施工現場に移動して桃花台線下部工（橋脚柱部）のワイヤソー工法による躯体切断、クレーンによる仮置きまでを見学しました。



現地研修風景



山口所長



ワイヤソー工法による躯体切断



クレーンによる横取り



仮置き

③ 検討会及び意見交換会

研修室に戻り設計者から上下部工撤去方針、撤去工法検討、工事中の迂回路計画、設計段階での課題の説明、そして施工者から工事工程（仮遊歩道整備・遊歩道切替・橋梁撤去・遊歩道整備）と現在の進捗状況の説明がありました。



状況説明を行った後、それぞれの違う立場からの視点による質問・疑問点、それに対する回答があり、積極的に意見交換が出来ました。



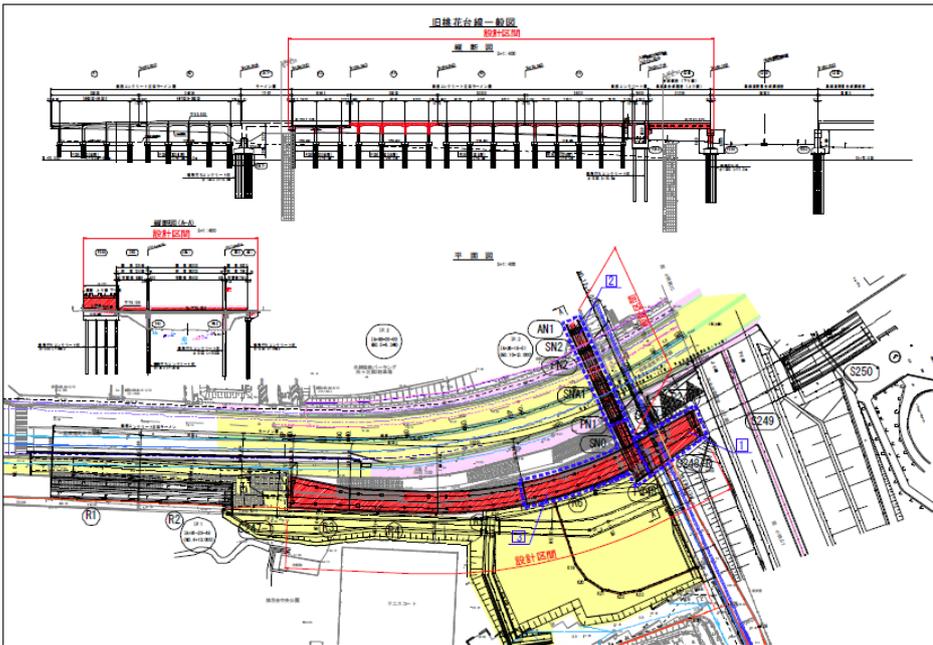
最後に尾張建設事務所阪本企画調整監から研修会全体の講評をいただきました。これからは無事故無災害による安全施工を第一として、三者が協力して地域の社会資本整備を担っていかねばならないことを再認識することが出来ました。

貴重な時間と場所をご提供いただき関係者の皆様にお礼申し上げます。

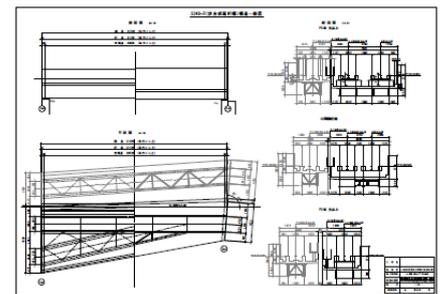


阪本企画調整監

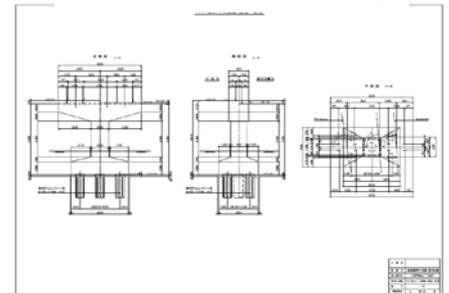
設計箇所と工事発注箇所



上部工：S248-R 非合成鋼箱桁



下部工：P249 RC張出橋脚



アソシエーションA・I名古屋地区アンケート結果

